

◎ 円借款の供与に関する日本国政府とインド政府との間の交換公文

(略称) インドとの円借款取極

平成二十四年 三月二十九日 ニューデリーで  
平成二十四年 三月二十九日 効力発生  
平成二十四年 四月 十七日 告示

(外務省告示第一五一号)

目 次

日本側書簡	一七三
1 円借款の供与	一七三
2 借款契約の締結及び借款の条件	一七三
3 借款の対象	一七四
4 生産物又は役務の調達	一七四
5 生産物の海上輸送及び海上保険	一七四
6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与	一七四
7 借款、利子等の免税	一七四
8 借款の適正使用等	一七五
9 計画の進捗状況についての情報及び資料等の提供	一七五
10 協議	一七五
11 書簡と付表との関係	一七五

付 表	一七七
インド側書簡	一七八

(円借款の供与に関する日本国政府とインド政府との間の交換公文)

(日本側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本使は、インドの経済の安定及び開発努力を促進するために供与される日本国の借款に関して日本国政府の代表者とインド政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光榮を有します。

1 千三百四十二億八千八百万円(一三四、二八八、〇〇〇、〇〇〇円)の額までの円貨による借款(以下「借款」という。)(が、この書簡の付表1欄に掲げる事業計画(以下「計画」という。))を実施することを目的として、各事業計画につきこの書簡の付表2欄に定める配分に応じ、独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」という。))により、日本国の関係法令に従って、インド政府に供与されることとなる。

借款契約  
の締結及  
供与の条件

2 (1) 借款は、インド政府とJICAとの間で締結される借款契約に基づいて使用に供される。借款の条件及び使用に関する手続は、この了解の範囲内で、なかなずこの書簡の付表3欄、付表4欄及び付表5欄にそれぞれ掲げる利子率、償還期間及び支出期間を含むこととなる前記の借款契約において規律される。

(2) (1)に規定する借款契約は、JICAが計画の実行可能性(環境に対する配慮を含む。)(を確認した後)に締結される。

(Japanese Note)

New Delhi, March 29, 2012

Excellency,

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of India concerning a Japanese loan to be extended with a view to promoting the economic stabilization and development efforts of India:

1. A loan in Japanese yen up to the amount of one hundred and thirty-four billion two hundred and eighty-eight million yen (¥134,288,000,000) (hereinafter referred to as "the loan") will be extended, in accordance with the relevant laws and regulations of Japan, to the Government of India by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") for the purpose of implementing the projects enumerated in Column 1 of the Annex attached hereto (hereinafter referred to as "the Projects") according to the allocation for each project as specified in Column 2 of the Annex attached hereto.

2. (1) The loan will be made available by loan agreements to be concluded between the Government of India and JICA. The terms and conditions of the loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreements, within the scope of the present understanding, which will contain, inter alia, the rate of interest, the repayment period and the disbursement period enumerated respectively in Columns 3, 4 and 5 of the Annex attached hereto.

(2) The loan agreements mentioned in sub-paragraph (1) above will be concluded after JICA is satisfied of the feasibility of the Projects, including environmental consideration.

インドとの円借款取極

(3) この書簡の付表5欄に掲げるそれぞれの支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。

3 (1) 借款は、インドの実施機関が調達適格国の供給者、請負業者又はコンサルタントに対して既に行ったか又は行う支払で、事業計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で既に締結されたか又は締結されることのある契約に基づいて行われるものを対象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。

(2) (1)に規定する調達適格国の範囲は、両政府の関係当局間へ合意される。

(3) 借款の一部は、計画の実施のための適格な現地通貨の需要に充てるために使用することができる。

4 インド政府は、3(1)に規定する生産物又は役務がJICAの調達のためのガイドライン（国際競争入札の手続が適用できないか又は適当でない場合を除く）はか従うべき国際競争入札の手続をなかく定めらる。）に従って調達されることを確保する。

5 インド政府は、借款に基づいて購入される生産物の海上輸送及び海上保険に関し、海運会社及び海上保険会社の間の公正かつ自由な競争を妨げることのあるいかなる制限を課することも差し控える。

6 3(1)に規定する生産物又は役務の供給に関連してインドにおいてその役務が必要とされる日本国民は、作業の遂行のためインドへの入国及び同国における滞在に必要な便宜を与えられる。

7 (1) インド政府は、JICAについて、借款及びそれから生ずる利子に対して又はそれらに関連してインドにおいて課される全ての財政課徴金及び租税を免除する。

借款、利子等の免税

の日本国民及び滞在するに便する

生産物の海上輸送及び海上保険

生産物の役務の調達

(3) The respective disbursement periods enumerated in Column 5 of the Annex attached hereto may be extended with the consent of the authorities concerned of the two Governments.

3. (1) The loan will be made available to cover payments already made and/or to be made by the Indian executing agencies to suppliers, contractors and/or consultants of eligible source countries under such contracts as have been and/or may be entered into between them for purchases of products and/or services required for the implementation of the Projects, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.

(2) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above shall be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.

(3) A part of the loan may be used to cover eligible local currency requirements for the implementation of the Projects.

4. The Government of India shall ensure that the products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3. are procured in accordance with the guidelines for procurement of JICA, which set forth, inter alia, the procedures of international competitive bidding to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.

5. With regard to the shipping and marine insurance of the products purchased under the loan, the Government of India shall refrain from imposing any restrictions that may hinder fair and free competition among the shipping and marine insurance companies.

6. Japanese nationals whose services may be required in India in connection with the supply of the products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3. shall be accorded such facilities as may be necessary for their entry into India and stay therein for the performance of their work.

7. (1) The Government of India shall exempt JICA from all fiscal levies and taxes imposed in India on and/or in connection with the loan as well as interest accruing therefrom.

借款の適  
正使用等

計画の進  
捗状況の  
把握及び  
情報提供  
資料等  
協議  
書簡と  
係との関

(2) インド政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。

- (a) 借款が生産物若しくは役務又はそれらの輸入、製造、調達若しくは供給に関連してインドにおいて課されるいかなる租税の支払にも使用されないこと。
- (b) 請負業者又はコンサルタントが支払う個人所得税又は法人税を除くいかなる税も、実際の調達手続において容易に判別できる税（主要請負業者又はコンサルタントとインドの実施機関との間の直接契約により計画に供給される最終の生産物又は役務に関連して課せられる税を含む。）である場合には、インドの実施機関によって支払われること。

8 インド政府は、次のことのために必要な措置をとる。

- (a) 借款が適正にかつ専ら計画のために使用されることを確保すること。
- (b) 借款に基づく施設の建設及び当該施設の使用に当たり、計画の実施に従事する者及びインドの一般公衆の安全を確保し、及び維持すること。
- (c) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定める目的のために適正にかつ効果的に維持され、及び使用されることを確保すること。

9 インド政府は、要請に応じ、日本国政府及びJICAに対し、次のものを提供する。

- (a) 計画の進捗状況についての情報及び資料
  - (b) 計画に関連するその他の情報
- 10 両政府は、この了解から又はそれに関連して生ずることのあるいかなる事項につきとも相互に協議する。

11 この書簡の付表は、この書簡の不可分の一部を成す。

(2) The Government of India shall take necessary measures to ensure that:

- (a) the loan will not be used for payment for any taxes levied in India on products and/or services, or on the import, manufacture, procurement or supply thereof; and
- (b) any taxes, except the personal income tax and corporate tax payable by the contractors and/or consultants, which are easily determinable under objective procurement process, including those taxes on final products and/or services supplied to the projects in the direct transaction between the main contractor/consultant and the Indian executing agencies, be paid by the Indian executing agencies.

8. The Government of India shall take necessary measures to:

- (a) ensure that the loan be used properly and exclusively for the Projects;
- (b) ensure and maintain the safety of persons engaged in the implementation of the Projects and of the general public of India in constructing the facilities under the loan and in using such facilities; and
- (c) ensure that the facilities constructed under the loan be maintained and used properly and effectively for the purpose prescribed in the present understanding.

9. The Government of India shall, upon request, furnish the Government of Japan and JICA with:

- (a) information and data concerning the progress of the implementation of the Projects; and
  - (b) any other information related to the Projects.
10. The two Governments shall consult with each other with respect to any matter that may arise from or in connection with the present understanding.

11. The Annex attached hereto shall form an integral part of the present Note.

インドとの円借款取極

本使は、更に、この書簡及び前記の了解をインド政府に代わって確認される閣下の返簡が両政府間の合意を構成し、その合意が閣下の返簡の日付の日に効力を生ずるものとすることを提案する光榮を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

二十二年三月二十九日にニューデリーで

インド駐在

日本国特命全權大使 齋木昭隆

インド財務省

経済局局長 プラボード・サクセナ閣下

一七六

I have further the honour to propose that this Note and Your Excellency's Note in reply confirming on behalf of the Government of India the foregoing understanding shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Akita Saiki  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to India

His Excellency  
Mr. Prabodh Saxena  
Joint Secretary,  
Department of Economic Affairs,  
Ministry of Finance,  
Government of India

付  
表

付表					
1 事業計画名		2 供与限度額		3 （利子率） （パーセント）	
1 デリー高速輸送システム建設計画フェーズ3		千二百七十九億千七百五十万円		一・四〇・〇一	
2 西ベンガル州森林・生物多様性保全計画		六十二億七千万円		〇・六五〇・〇一	
総額		コンサルタの支払に 対する		償還期間 （借款契約の発効の日の後）	
		コンサルタの支払に 対する		十年の据置期間 の後二十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年の据置期間 の後三十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	
		コンサルタの支払に 対する		十年	

Annex

Column 1	Column 2	Column 3	Column 4	Column 5
Project	Maximum amount	Rate of interest	Repayment period	Disbursement period (after the effect of the loan agreement)
1. Doshi Kassi Rapid Transport Project Phase3	127,917 million yen	1.40%	Twenty (20) years after the start of the project (ten (10) years)	six (6) years
2. West Bengal Forest and Wildlife Conservation Project	6,371 million yen	0.65%	thirty (30) years after the start of the project (ten (10) years)	ten (10) years
Total amount: 134,288 million yen				

## インドとの円借款取極

(インド側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本官は、更に、前記の了解をインド政府に代わって確認するに付、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成し、その合意がこの返簡の日付の日に効力を生ずるものとすむに同意する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、心から重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

二千十二年三月二十九日にニューデリーで

インド 財務省

経済局局長 プラバート・サクセナ

インド駐在

日本国特命全權大使 齋木昭隆閣下

一七八

(Indian Note)

New Delhi, March 29, 2012

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of India the foregoing understanding and to agree that Your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of this Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Prabodh Saxena  
Joint Secretary,  
Department of Economic Affairs,  
Ministry of Finance,  
Government of India

His Excellency  
Mr. Akitaka Saiki  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to India



（参考）

この取極は、独立行政法人国際協力機構がインド政府に対し、千三百四十二億八千八百万円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認するものである。